

分数のたし算

分母が同じ分数のたし算では，分母はそのままして，分子だけをたします。

分子だけをたす

$$\frac{1}{5} + \frac{2}{5} = \frac{3}{5}$$

分母はそのまま

答えの分子が分母より大きくなってもよい。したがって，

$$\frac{5}{7} + \frac{3}{7} = \frac{8}{7}$$

になる。

答えの分子と分母が同じであるときは，分数の大きさは1になる。したがって，

$$\frac{1}{4} + \frac{3}{4} = \frac{4}{4} = 1$$

になる。

分数のひき算

分母が同じ分数のひき算では，分母はそのままして，分子だけをひきます。

分子だけをひく

$$\frac{4}{5} - \frac{1}{5} = \frac{3}{5}$$

分母はそのまま

かぶんすう

仮分数であっても，同じように計算することができる。

$$\frac{11}{9} - \frac{4}{9} = \frac{7}{9}$$

になる。

ひかれる数が1のときは，1をひく数の分母にそろえて計算する。分母を3にそろえる。

$$1 - \frac{1}{3} = \frac{3}{3} - \frac{1}{3} = \frac{2}{3}$$

になる。